

CITIZEN®

電波時計（強化防滴・防塵掛時計）取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 電池を入ると約3分以内に時刻を表示します
- 暗くなると秒針が12時位置に停止します
- 防滴・防塵構造

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間で標準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1310)

おもな製品仕様

| | |
|---------------|--|
| 時間精度 | 標準電波受信成功直後の表示精度 秒針：±1秒 時針・分針：目盛りに対して±3度 標準電波を受信しないとき 平均月差±20秒（温度が5～35℃のときのクォーツ精度） |
| 使用温度範囲 | -10℃～+50℃ |
| 使用電池 | 表示用：単3形アルカリ乾電池 JIS規格LR6 2個 内蔵：コイン形リチウム電池 CR2032 1個 |
| 電池寿命 | 表示用：約2年 内蔵：工場出荷時より5年以上（交換不要） ※いづれも標準電波の受信に成功しているときのものです。 |
| 標準電波受信局 | 標準電波を受信して時刻を修正 福島局/九州局 自動選択 |
| 受信回数 | 最少 1回/日、最多 12回/日 |
| 受信機能 | ボタン操作でON/OFF切り替え |
| 手動時刻合わせ | ボタン操作 |
| 暗所秒針停止 | 明暗センサーと連動して、暗くなると秒針を12時位置 |
| スリープモニター | 暗所の状態を再現 |
| 電池の交換時期お知らせ機能 | 秒針が常時12時位置に停止 |
| 防滴・防塵 | 当社基準 「◎強化防滴・防塵について」参照 |

| 標準電波受信開始時刻条件 | 回数 | 開始時刻 |
|-----------------------|--------|---|
| ▶ 受信成功から72時間以内の場合 | 1～3回/日 | AM 2:16:40、AM 3:16:40、AM 4:16:40 |
| ▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合 | 12回/日 | 奇数時の16分40秒 例 AM 1:16:40、AM 3:16:40など |
| ▶ 初めから受信に失敗している場合 | | |
| ▶ 手動で時刻合わせをした場合 | | |

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池 2個 コイン形リチウム電池 1個（組み込み済み）
木ねじ 1個 取付金具 1個 くぎ 4個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

お問い合わせ先

お客様相談室 **0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「4MY691」をお伝えください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してならん責任を負いかねますのでご了承ください。

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明 ◎は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

●は、指示する行為を必ずすることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 加熱しない。
- 火の中に入れない。

電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、故障やけがの原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

サウナなど50℃以上の高温になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

時計内部をぬれた手で触らない
故障や誤作動の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器などの風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池、製品の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jij.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

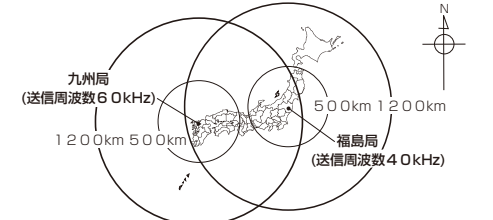
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

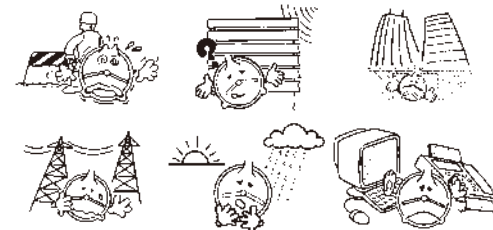


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起る所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



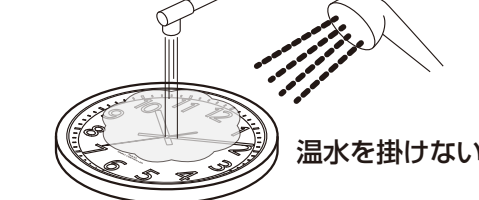
◎強化防滴・防塵について

当社の強化防滴・防塵は、汚れ落としのために静かに水の中に浸けることができる密閉性を高めた防水構造です。湿度が100%近くの所でもご使用になれます。

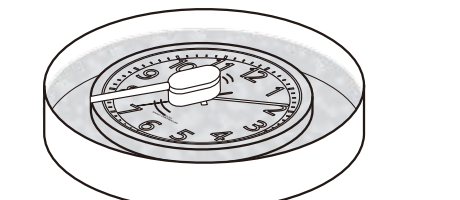
注意 防水性を維持するために次のことをお守りください。

- 温度が高い所でふたの着脱を行わないでください。内部に湿気が入り込み、温度変化によりガラス内側の結露やさびの発生による故障の原因になります。
- バックイン部の異物を取り除いてふたをきっちり締めてください。
- バックインやプラスチック、金属部品が劣化する所に設置しないでください。
 - ・屋外など強い紫外線を浴びる所
 - ・殺菌や脱臭などを目的としたオゾン発生機器がある所
 - ・塗料などに使われるトルエンなどの有機溶剤を使用する所
 - ・温泉など硫化ガスが発生する所
 - ・プールなど塩素殺菌による塩素ガスが発生する所など
- 50℃以上になるサウナなどでは、電池からの液漏れが発生しやすくなります。また、防水性能や時間精度が低下しますので使用しないでください。
- 防水性能を長く保つため、急激な温度変化や振動を加えないでください。
- 油分のある台所でも使用できますが、天ぷら専門店の調理場や大量に油を使う工場など、多量の油分が発生する所では使用できません。
- 耐水圧構造ではありませんので、水の中に深く沈めたり10分以上浸したりしないでください。

蛇口、シャワーなどの流水を掛けない
時計内部に浸水します。



水の中で洗わない
時計内部に浸水します。

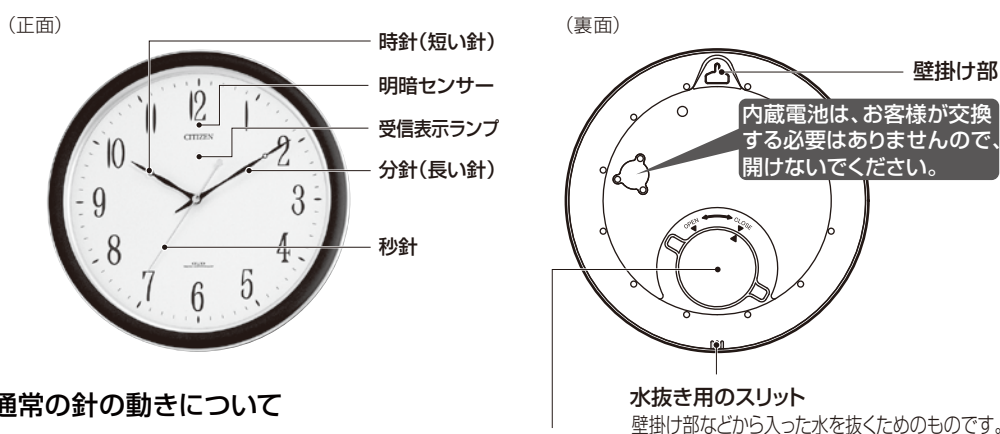


ケースの汚れを落とすとき

水でうすめた中性洗剤や石けん水を柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。汚れが落ちないときは、水やぬるま湯で薄めた中性洗剤の中で10分くらい浸してから時計を取り出して、汚れを落としてください。時計の厚み分約5cmの深さまで浸すことができます。

各部の名称と役割

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



通常の針の動きについて

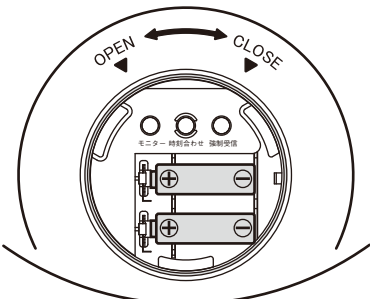
時計・分針：10秒に1回動く。
秒針：滑らかな1秒ステップ。
※自動受信で時刻を修正するときは、順方向または逆方向に早送りしたり、停止することがあります。

電池の入れかた

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を2個入れてください。

▲注意 電池の⊕⊖を逆向きに入れると電池からの液漏れや発熱、破裂の原因になります。

(ふたを取り外した状態)



操作ボタン

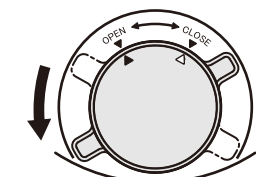
- **強制受信**
電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに使用します。
 - **時刻合わせ**
手動で時刻を合わせるときに使用します。**不用意に押すと時刻が変わります。**
 - **モニター** (スリープモニター)
明暗センサーの機能を試すときに使用します。
- パッキンに砂やほこりなどの異物が付着すると防水性能が低下しますので、取り除いてください。
●ふたが固く締めづらいときには、ふたを外して、パッキンの表面に良質のハンドクリームを薄く塗ってください。

▲注意 ふたの着脱について

- ふたを取り外すときは、事前に時計や手の水分をよく拭き取ってください。
- 電池のセットやボタン操作するときは、取り外してください。使用後は、必ずふたをきっちり締めてください。
- 浴室や温泉など湿度が高い所では、ふたの着脱を行わないでください。内部に湿気が入り、温度変化によりガラス内側の結露やさびによる故障の原因になります。

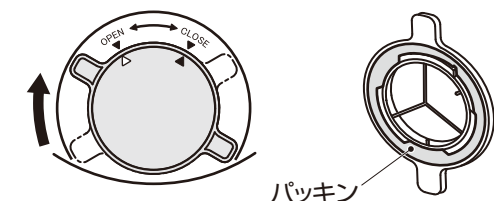
ふたの取り外し

ふたの▲印を「CLOSE」から左に回転させ、「OPEN」の位置にして取り外します。

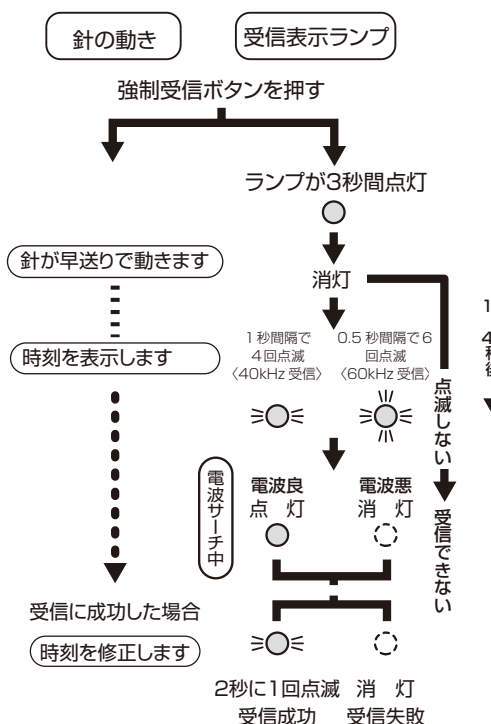


ふたの取り付け

ふたの▲印が「OPEN」位置になるようにふたをはめ込み、▲印を「CLOSE」の位置まで右に回転させてください。



標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- 窓際やベランダなど電波の受信しやすい所に時計を移動させます。
- 強制受信ボタンを押します。受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送り移動し、時刻を表示します。
- 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- 電波状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない
→時計を移動させてください。
- 受信結果を表示します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。1～2日後に受信結果を確認してください。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ …… 電波を受信できない、任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送り動いているときは、通常の針の動きになってから操作をしてください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると自動的に時刻は修正されます。

操作 ○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けると早送ります。

秒針の動きについて

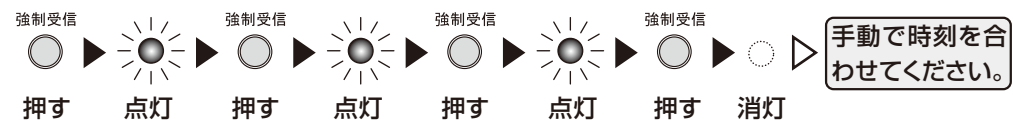
時刻合わせボタン押し続けるとすぐに停止するか、12時位置に早送り移動してから停止します。秒は、時刻合わせボタンを離すと「0秒」に設定され秒針が動き出します。時刻合わせボタンを離れたときの秒針位置によっては、数秒間停止してから動き出します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには (標準電波を受信しない)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

○窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

この時計は、時刻を合わせて出荷しています。

1 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて表示用電池を入れる

2 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが点灯して受信を開始します。針が早送り移動を開始し、およそ3分以内に内部時刻を表示します。

標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた参照

※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

※受信中はボタン操作をしないでください。

3 (時計の掛けかた) に従い、時計を確実に掛ける

4 受信開始後、15分経過してから受信表示ランプで結果を確認する

受信表示ランプ 受信成功：2秒に1回点滅 正しい時刻を表示。

受信失敗：消灯 標準電波を受信できない場合へ

内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。

また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと、およそ3分以内に時刻を表示します。

表示用電池を取り外したり、電池切れのときには、内蔵電池に切り替わり時を刻みます。

※内蔵電池のみでは、針による時刻表示をしません。

※表示用電池により、時刻を表示しているときには内蔵電池を使いません。

※電波受信機能がOFFのときには受信を行いません。

時計の掛けかた

▲注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかりと掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

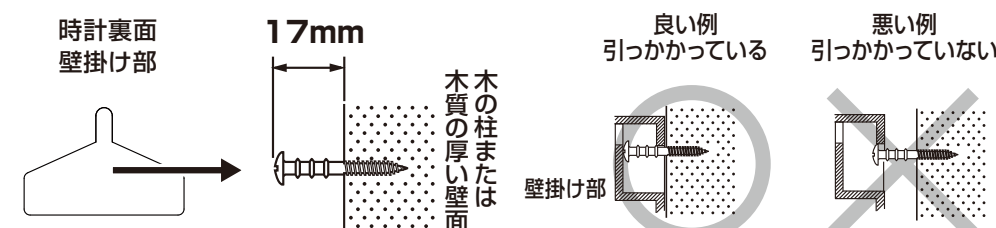
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかりと掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



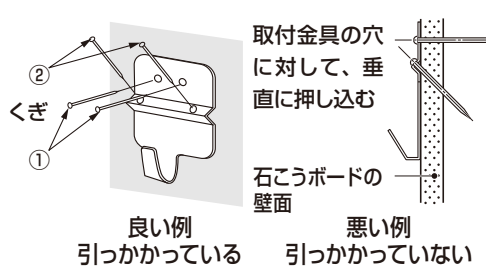
石こうボードの壁面の場合

●付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

●取付金具は下図のとおり、付属のくぎ4本でしっかりと固定してください。

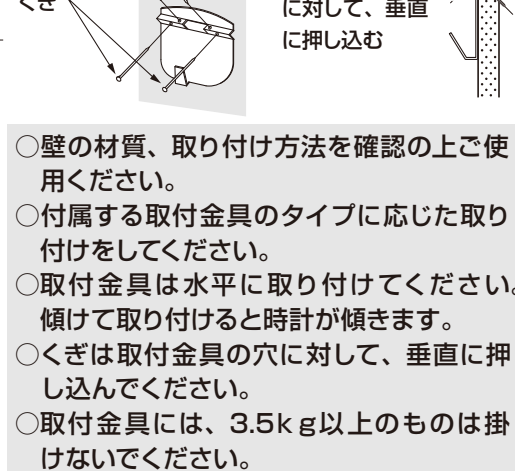
取り付けかた 取付金具 タイプA

金具を水平にして①②の順序でくぎを押し込む。



取付金具 タイプB

くぎ 取付金具の穴に対して、垂直に押し込む



その他の壁面の場合

●コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

明暗センサーとスリープモニター …… 暗くなると秒針停止

明暗センサーが暗いと判別した場合、受信表示ランプが消灯し、秒針を12時位置で停止させます。

昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。

スリープモニターは、センサーが暗いと判別したときの状態を再現します。秒針が55～59秒位置にあるときに、モニターボタンを押し続けてください。秒針が12時位置に停止します。モニターボタンを離すと秒針は、現在時刻位置に移動します。

電池の交換時期お知らせ機能 …… 常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると、明るい所でも秒針が12時位置に停止したままになります。そのまま放置すると電池からの液漏れや誤作動の原因になりますので、このような状態になったときは、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

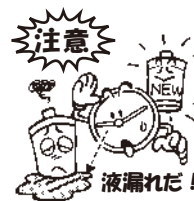
▲注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

●時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。

●時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。

●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。



電波受信機能をONにするには (標準電波を定期的に受信する)

電波受信機能は、工場出荷するときにONにしています。

OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※この説明文中で「押す」は、「押し、すぐ離す」ことです。

※表示用電池を取り出しても設定を保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。回路内の電荷がなくなるとONになります。